



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位



令和6年11月20日（水） 岐阜県発表資料			
担当課	担 当	担当者	電話番号
農産園芸課	ぎふ清流GAP推進係	猪原、片桐	内線 4113 直通 058-272-8436 FAX 058-278-2692
(一社) 岐阜県農畜産公社 ぎふ清流GAP推進センター		新藤	TEL 058-216-1566 FAX 058-216-1567

## 「ぎふ清流 GAP 評価制度推進研修会」を開催します

県では、持続可能な農業の実現に向け、令和2年11月に「ぎふ清流GAP評価制度<sup>\*1</sup>」を創設し、GAPの取組みを推進しています。

このたび、生産者の産地単位の取組みの推進及びGAP農産物の流通拡大を図るため、生産者、市町村、JA、県農業普及指導員等を対象に下記のとおり研修会を開催します。

### 記

- 1 日 時 令和6年11月26日（火） 13:00～17:00
- 2 場 所 岐阜県JA会館2階大会議室（岐阜市宇佐南4-13-1）
- 3 参加者 市町村、JA、県農林事務所、生産者等 約80名
- 4 主 催 （一社）岐阜県農畜産公社ぎふ清流GAP推進センター、岐阜県
- 5 後 援 岐阜県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会岐阜県本部

### 6 日程及び内容

- 13:00～13:10 開会あいさつ 岐阜県農政部長 足立 葉子
- 13:10～14:10 講演：JAふくしま未来 JGAP 団体認証取得の取り組み  
佐藤 邦彦氏（JAふくしま未来 営農経済部長）
- 14:10～15:10 講演：トップバリュ 生産者さまとの取組みについて  
藤木 太氏（イオントップバリュ株式会社 商品開発本部  
農産商品部生鮮野菜グループ マネージャー）
- 15:10～15:20 休憩

- 15:20～15:50 事例報告：ぎふ清流GAPの取組みを経営に活かす  
おおにし ようすけ  
 大西 洋介氏（株式会社アルプス農場 代表取締役）
- 15:50～16:10 情勢報告：ぎふ清流GAP評価制度を取り巻く情勢について  
いはら よしひさ  
 猪原 由久（岐阜県農産園芸課ぎふ清流GAP推進係長）
- 16:10～17:00 意見交換：「良い農業の取組みが農業経営にもたらすメリットは」  
 佐藤 邦彦氏、藤木 太氏、大西 洋介氏、猪原 由久
- 17:00 閉会あいさつ（一社）岐阜県農畜産公社理事長 あめみや こうじ  
 雨宮 功治

### ※1 りふ清流GAP評価制度

GAPとは、Good（良い）Agricultural（農業の）Practice（実施）の略称で、「農業生産工程管理」と訳される。食品安全、環境保全、労働安全などの観点から農業生産の工程に潜むリスクを管理して、持続的に農業を行うための取組み。

ぎふ清流GAPは、127項目の規準により第三者評価機関の評価員が農場を評価し、評価点数が一定水準を満たす農場を認証する国際水準GAPガイドラインに準拠<sup>※2</sup>した県独自の制度。



### ※2 国際水準GAPガイドラインに準拠したGAP

国際水準GAPとは、食品安全、環境保全、労働安全、人権保護、農場経営管理の5分野を満たしたもの。都道府県など多様な主体が策定しているGAPについて、国が国際水準GAPガイドラインへの準拠状況を個別に確認している。現在、11都県、2民間団体が確認済。

農林水産省ホームページ

[https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/gap\\_guidelines/index.html](https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/gap_guidelines/index.html)